

# 浅間山

火山活動度レベル（平成16年3月1日～31日）

## 2（やや活発な火山活動）

概況（平成16年3月）

**火山活動は、やや活発な状態が続いています。**

地震活動は、2003年6月末頃から微小な地震のやや多い状態が継続しています。また、規模の小さな火山性微動が時々発生しました。

火口底温度は、全体として低下傾向にあります。

以上のことから、火山活動は、低下傾向にあるものの、やや活発な状態が続いており、今後も山頂付近に少量の降灰をもたらす小規模な噴火の起こる可能性はあります。山頂付近では少量の降灰や火山ガスに注意が必要です。

### 地震活動の状況

2000年9月から地震活動のやや活発な状態が続いていましたが、2003年6月末頃から微小な地震が増加し、2003年7月～2004年2月に引き続き3月上旬も地震回数のやや多い状態でした。中旬以降、地震回数は増減しながらも次第に減少する傾向となりました。月地震回数は962回（いずれも無感）で、前期間（1,993回）の半分以下に減少しました（図3）。

火山性微動は、時々発生しましたが、その規模は基準観測点（B点、火口の南約2km）での振幅が0.1μm前後、継続時間が約1～3分で、全て小さいものでした（表1、図2、図4）。

表1 火山性地震・火山性微動日別回数表（浅間山）

#### 浅間山(B点)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	67	53	71	76	42	68	61	39	32	55		564	
微動	1	0	0	0	7	0	0	1	0	1		10	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	45	35	21	22	14	14	11	10	22	35		229	
微動	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
高周波地震	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
低周波地震	22	27	19	23	16	7	7	14	12	14	7	168	961
微動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12

短期・日別 地震活動推移 (最近2年間の火山性地震・火山性微動の日別回数)

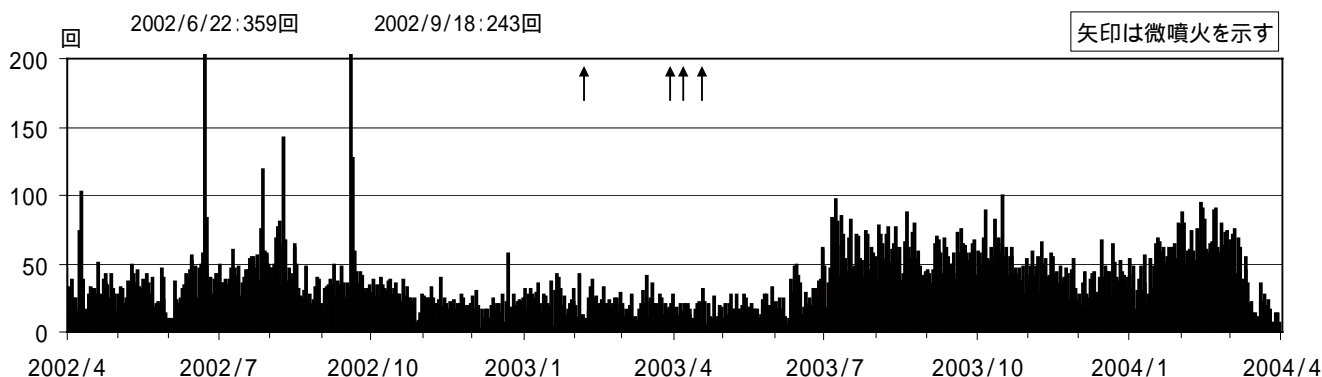


図1 浅間山 火山性地震日別回数(2002年4月1日~2004年3月31日)

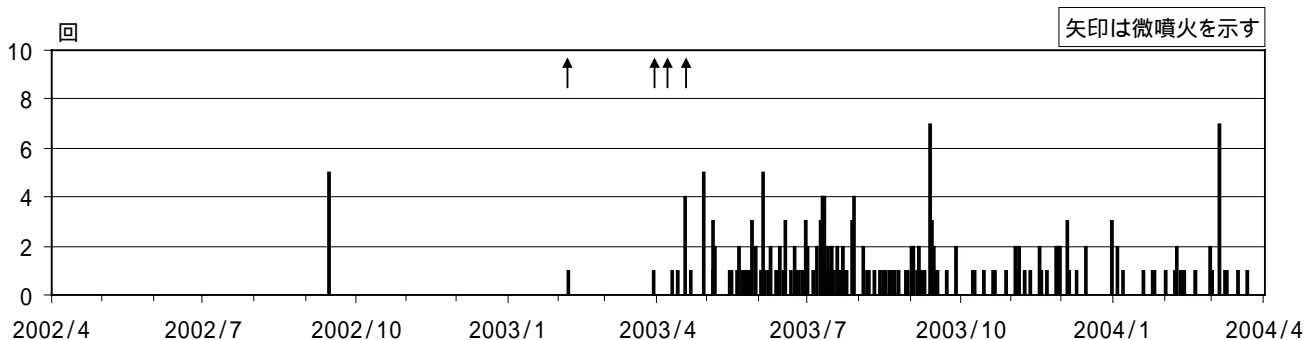


図2 浅間山 火山性微動日別回数(2002年4月1日~2004年3月31日)

長期・月別 地震活動推移 (1964年1月以降の火山性地震・火山性微動の月別回数)

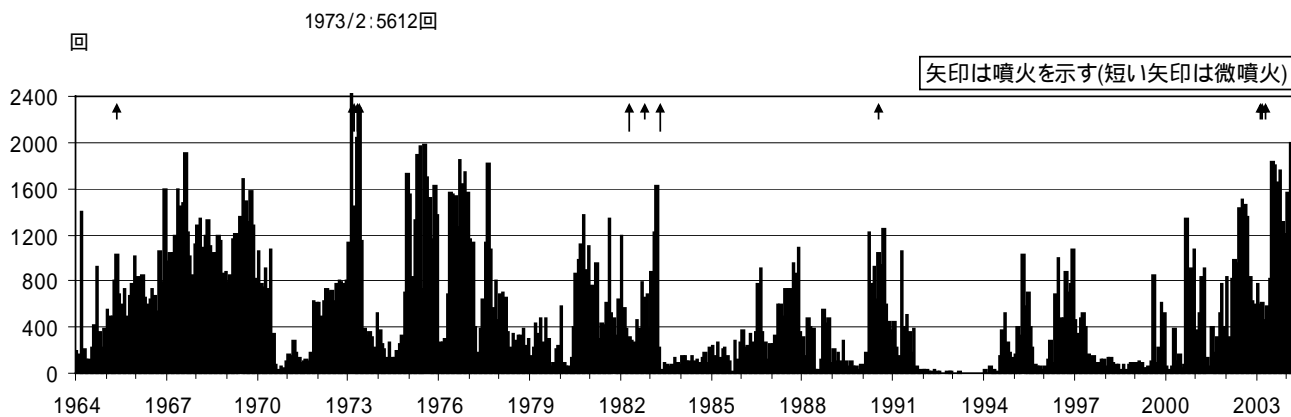


図3 浅間山 火山性地震月別回数(1964年1月~2004年3月)

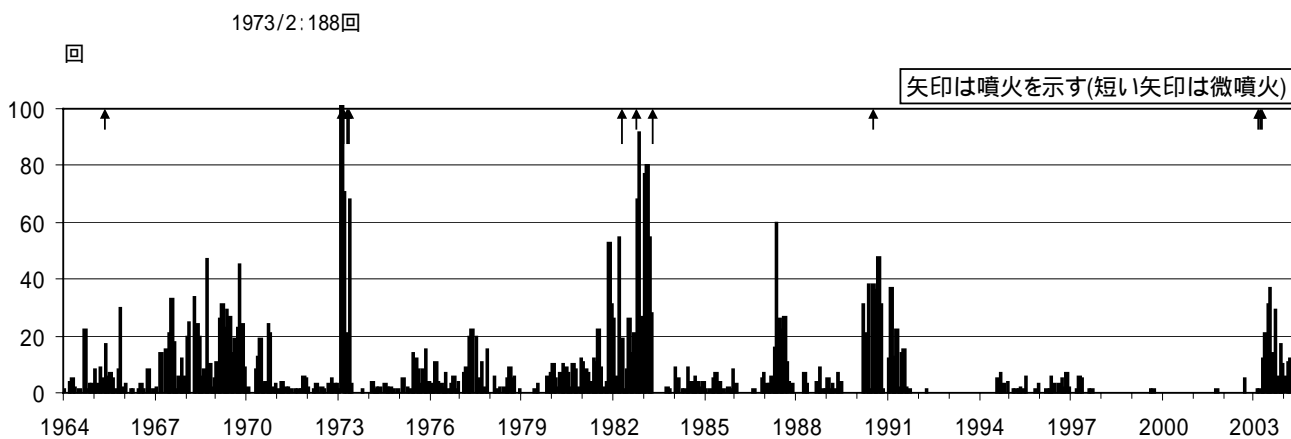


図4 浅間山 火山性微動月別回数(1964年1月~2004年3月)

噴煙活動の状況

遠望カメラにより噴煙の状況について観測できた日数は24日でした。観測された噴煙高度の最高は400m(1日)、最大噴煙量は1で、噴煙の観測されない日もありました。噴煙活動は、次第に1998~2000年頃の落ち着いた状態に戻りつつあります(図5~7)。

また、2003年4月18日の極小規模な噴火以降、有色噴煙は観測されていません。

短期・日別 噴煙活動推移 (最近2年間の日別噴煙高度)

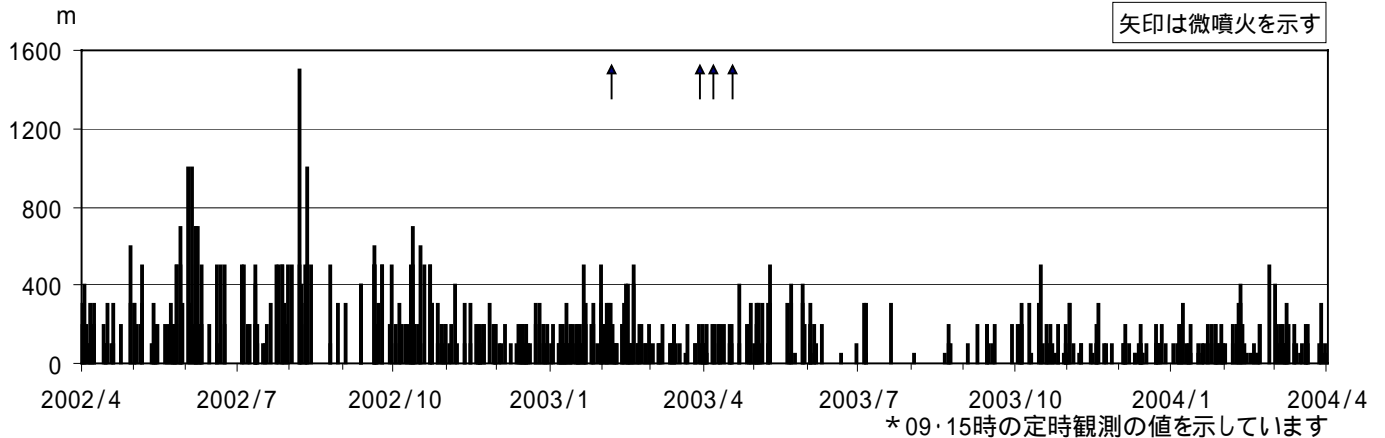


図5 浅間山 日別噴煙高度(2002年4月1日~2004年3月31日)

長期・月別 噴煙活動推移 (1964年以降の月別噴煙高度・月別噴煙量)

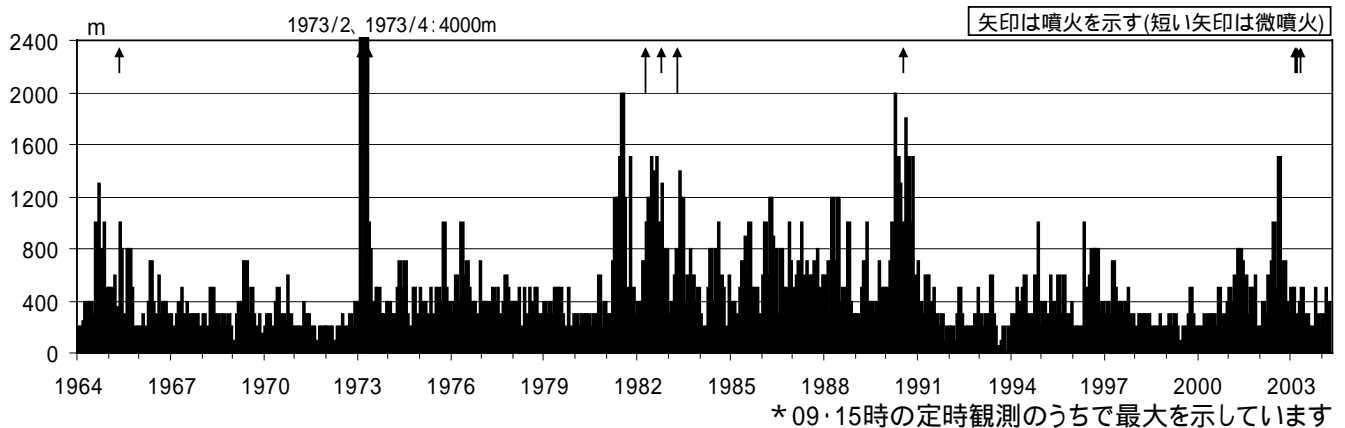


図6 浅間山 月別噴煙高度(1964年1月~2004年3月)

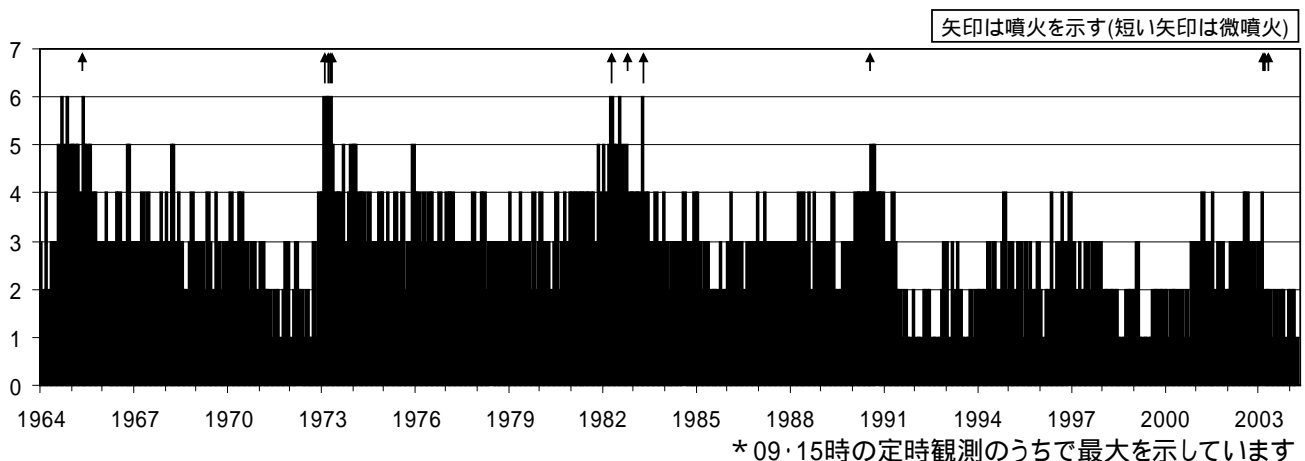


図7 浅間山 月別噴煙量(1964年1月~2004年3月)

火口温度の状況

群馬県林務部設置の赤外カメラにより、火口底内の高温部分が確認されており(図8-)、火口底温度の高い状態は続いていると考えられます。ただし、2003年前半(図8-)に比べると高温部の面積は縮小してきており、全体としては低下傾向にあります。

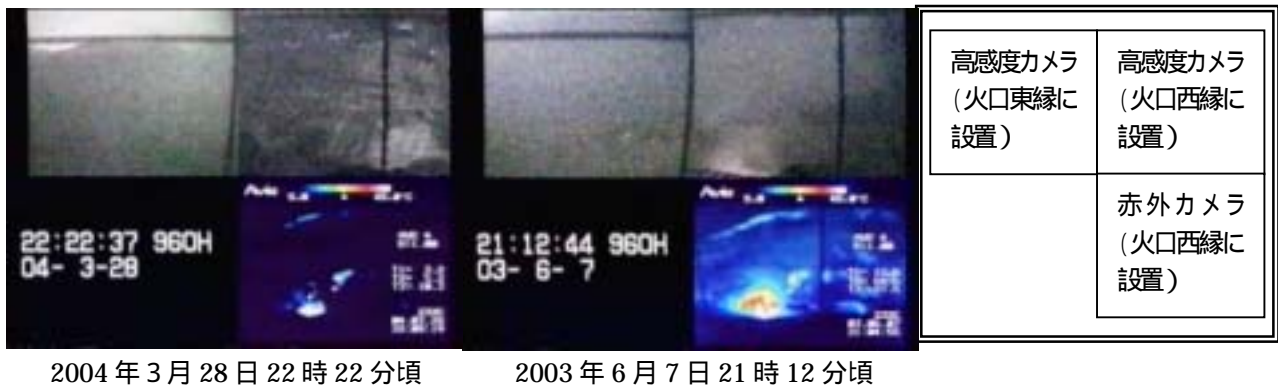


図8 火口カメラによる火口内の状況

観測点配置

